

耐久高等学校同窓会報

耐久



桜を愛でるささやかな会

—2011. 4. 5—

有田川町「あたご山」

有田耐久会「夜桜見物と花の宴」

NO. 28

自粛ムードの中開催された少し寂しい花見の会は、それでも満開の桜の下お互いの交流を深め、皆を元気付ける良い機会となった。

平成22年度卒業式・平成23年度入学式

第六十三回全日制・第五十五回
定時制卒業式が三月一日（火）朝
夕に分け挙行された。
全員が感動する素晴らしいものと
なった。

中嶋校長は、式辞で梧陵翁の「稲
むらの火」「広村堤防建設」と『学
則』にふれ、「自分のため」だけ
でなく「隣人のため」「母校のた
め」「郷土のため」という他者に
繋がる高い志と強い使命感を持つ
ことの大切さを強調された。また
グローバル化が進展し、多様な価
値観の交差する時代に日本人とし
てのアイデンティティーを確立し
て、耐久の精神を持ち続けてほし
い、との言葉を贈られた。

平成二十三年度入学式は、四
月八日（金）に行われ、全日制
二四〇名、定時制十九名の入学が
許可された。式典に先立ち、この
たびの東日本大震災で被災された
方々へ参加者全員で黙祷を捧げ
た。全日制入学式では、新人生を
代表して井端史弥君が宣誓を行
い、自覚ある高校生活のスタート
をきった。

下野会長は、「高校時代は一生
の友と出会える時代。卒業後も仲
間との友情を大切に、そして折り
があれば顔をあわせお互いの境遇
について語り合つて、心の安らぎ
を見い出して頂きたい。歴史と伝
統に輝く耐久の卒業生として誇り
と自信を持って進んでほしい。同
窓会は皆さんの心のふるさとであ
りたい。」との温かい言葉を贈ら
れた。

そして厳粛さと清々しい雰囲気
の中ですんだ式典は、卒業生代
表滝逸子さんの答辞により参加者



耐久高等学校に着任して

教頭 河本好史



旧制耐久中学校、有田高等女学
校、耐久高等学校同窓会の皆様
は、公私にわたりご活躍のことと
お慶び申し上げます。また、日頃
より本校教育の充実発展のため
に、ご支援をいただきありがとうございます。

私は、この四月に人事異動で、
海南高等学校定時制から転任して
参りました。

百六十年もの歴史と伝統ある耐
久高等学校で勤務させていただく
ことに、責任の重大さに身が引き
締まる思いであり、常に緊張感を
もって責務を精一杯務めてまいり
ますので、ご協力ご支援賜ります
ようお願い申し上げます。

着任後約四ヶ月経ち感じること
は、これまで様々な分野でご活躍
されている卒業生の皆様方の創つ
たたくさん作品や言葉等が、学
舎や校庭の至るところ展示されて
いることです。これらは、学舎で
学ぶ生徒たちをしつかりと見守

り、生徒たちも卒業生の皆
様方の学校に対する熱い思
い入れを受け止めながら、
育っているように感じてお
ります。

さて、今社会が求めている人材
は、グローバル社会に適応できる
若者であります。また、その一方
で「地方の時代」ともいわれてい
ます。特に地域の将来を担う人材
の育成は、本校に課せられた重要
な使命であります。

私は、耐久高等学校で学ぶ生徒
たちが、世界に目を向けた広い視
野を持ち、自己を活かす人生の方
向を定め、他人との競争ではなく
自らの意志で学ぶことを理解し、
真の生きる力をつけることが必要
であると考えます。

耐久高等学校が地域に愛され、
地域から信頼され、地域と共に歩
む学校づくりを心がけ、本学のさ
らなる発展のために全力を尽くし
て参りますので、どうぞよろしく
お願いいたします。

プロフィール

- ・紀美野町出身
- ・海南高等学校普通科卒業
- ・明治大学農学部農学科卒業
- ・教職歴
- ・古座高等学校（1年）
- ・那賀高等学校（3年）
- ・大成高等学校（5年）
- ・向陽高等学校（8年）
- ・海南高等学校（11年）
- ・海南高等学校定時制教頭（2年）
- ・本年4月 耐久高等学校着任

和歌山耐久会

会長 田 辺 善 彦
〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の 2
田辺法律事務所
Tel 073-431-2801

関西耐久会

会長 萩 平 勲
〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-17-301 号
ビジネス インテグレート(株)
Tel 06-6941-8282

関東耐久会

会長 九 鬼 利 郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002
株式会社 オフィス ココ 桜パンケット
Tel 03-3359-9520

有田耐久会

会長 柏 原 政夫美
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985
耐久高等学校・同窓会事務局
Tel 0737-62-4148

同窓会のホームページ URL <http://www.taikyuh.wakayama-c.ed.jp/obroom/obindex.htm>

支部連絡先

新着任挨拶

事務長 前田 英之



平成二十二年度末人事異動で
 ちばな支援学校から転勤してき
 ました前田英之です。

耐久高等学校は、縁あって二度
 目の勤務になります。

早くも赴任してから三ヶ月がた
 ちましたが未だ戸惑うことばかり
 で失敗も重ねながらも、「健康第
 一」に、そして「自分らしさ」を
 忘れることなく、頑張っていきた
 いと思っておりますので今後とも
 よろしくお願い申し上げます。

また、同窓会の皆様方には、本
 校の教育振興にご協力、ご支援い
 ただいておりますが、今後ともよ
 ろしくお願い申しあげると共に、
 「母校を想う気持ちを大切に」に私自
 身もまた、生徒、そして、保護者
 から、「耐久にきて良かった、行か
 せて本当に良かった。」と言ってい
 ただける特色ある学校づくりに微
 力ですが手助けできればと思う次
 第です。

耐久高校に着任して

定時制教頭 笠松 勝美



旧制耐久中学校、有田高等女学
 校、耐久高等学校同窓会の皆様
 に公私にわたりますますご活躍の
 こととお慶び申し上げます。また、
 日頃は本校教育の充実発展のため
 に、ご支援をいただきありがとうございます。

私は、この四月の人事異動で和歌
 山商業高等学校から転任して参り
 ました。有田郡出身なので、知人
 の多くが卒業している耐久高等学
 校は身近な高校でしたが、商業科
 の教員なので勤務することになる
 とは考えてもいませんでした。し
 かし、来年度創立百六〇周年の歴
 史と伝統を持つ耐久高等学校で、
 定時制課程の教頭とし勤務できる
 ことになり、身の引き締まる思い
 で日々勤務しています。

私は、定時制高校勤務は初めて
 で、戸惑うことも多いですが、様々
 な課題を抱いて入学してきた生徒
 が、生きる力を身に付け、自分に
 自信を持って、本校を巣立てるよ

うにしたいと考えています。その
 ために教職員が丸となって、生
 徒一人ひとりと向き合って、少人
 数で、個々の指導ができる定時制
 の良さを十分に活かして、生徒が
 耐久高校の定時制で学んだことを
 誇りに思える学校作りを目指して
 参ります。そして、皆様が築いた
 歴史と伝統をさらに発展させてい
 く所存ですので、同窓会の皆様
 ますますのご理解とご支援を賜り
 ますようお願い申し上げます。

プロフィール

・有田郡有田町(清水) 出身
 ・向陽高等学校普通科卒業
 ・龍谷大学経営学部経営学科卒業
 ・教職歴
 ・県立新宮商業高等学校(4年)
 ・県立和歌山高等学校(11年)
 ・県立和歌山商業高等学校(11年)
 ・本年4月、耐久高等学校(定時制
 教頭)着任

職員人事異動

- ・岩崎浩久 教頭
 ↓陵雲高校校長
- ・東田和也 事務長
 ↓ちばな支援学校事務長
- ・事務局 川口裕幸 教諭
 ↓日高高校教諭

以上の先生方が転任されました。
 また、圓生浩明PTA会長が退
 任され、有本大氏が新PTA会長
 に就任されました。

なお、川口先生の後任として、
 宮崎裕之先生(高33期)と戸川し
 をり先生(高36期)が160周年実行
 委員として就任されました。

文化祭における同窓会
コーナー設置について
(ご案内・ご依頼)

本年度も耐久高校文化祭2日目
 (一般公開日)に、左記のとおり
 同窓会休憩コーナーを設け、飲み
 物等の無料サービスを行います。
 是非とも皆様お誘い合わせのう
 えお立ち寄りくださいますようご
 案内申し上げます。

なお、当日お手伝いいただける
 方は、ご協力の程よろしく願い
 申し上げます。

記

日時 9月17日(土)

一般公開 9時～14時

場所 耐久高校正門

濱口梧陵翁像前テント

内容 飲み物

バルーンアート

ヨーヨーつり

(無料サービス)

わたがし(50円)

※駐車場について

一般公開日17日(土)につきま

しては駐車場がありません。

ご不便をおかけいたしますが、
 ご協力お願いいたします。

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!



有田川温泉 有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

SHIMODE DENTAL CLINIC

医療法人 わかしお会

下出 歯科

下出 優

(高・理数2期・S48卒)

有田郡広川町広292-1
TEL (0737) 63-6482

彫刻家 橋本和明が創る

オリジナル・シルバーアクセサリ

お問い合わせは TEL 0737-63-4077 橋本和明(高28期)
インターネットでも! URL <http://www.eonet.ne.jp/~casty/>

Casty

母校への、ご理解とご支援を!

平成23年度大学入試 進路概況について

進路指導部長 宮本 正典

18歳人口が減少しているものの平成23年度入試については、現役大学志願者数はむしろ前年より増加しました。依然として続く高卒生の就職率の低迷も大きな影響を与え、特に受験生の学部選別に現われ「資格志向」がより鮮明になっていきます。また、国立大学志向がさらに高まり、私立大学では地方から都市へという流れがやや鈍り「地元志向」「安全志向」となっています。

平成23年度の大学入試セン

ター試験については、出願者数が1%増に対して国立大学2次試験の出願状況は全日程合計で昨年よりも3%増加しました。センター試験の平均点アップの効果と考えられ、旧帝大を中心とした難関大は堅調な人気を保っています。

専門学校では、看護・医療系の人気引き続き高く、本校でも看護専門学校への進学者が多くなっています。また公務員・就職は、さらに厳しい状況が続くと考えられます。

以上のような厳しい状況の中で生徒達はよく健闘し、国立大学に、28名が合格(過年度生を含む)。一方、私立大学には、

東京理科、同志社、立命館、関西、関西学院に延べ37名が合格。京都産業、近畿、龍谷に延べ39名が合格しました。本校では学費も安く教員一人あたりの学生数も少なく設備の充実した国立大学を目指す生徒が多くいます。そして、ほとんどの生徒は、国立大学に挑戦し十分合格できる力はあると思います。今後、その進路希望が実現できるよう、早い時期から指導していきたいと考えています。

そのために、生徒達により高い進路目標を持たせ、それを実現するためのサポート体制をより充実させていきたいと考えています。

卒業生238名

国立大学

名古屋大 理学部 (1)
名古屋大 医学部保健学科 (1)
九州大 工学部 (1)
大阪府立大 工学部 (1)
大阪府立大 経済学部 (1)
大阪市立大 理学部 (1)
大阪市立大 経済学部 (2)
大阪市立大 文学部 (1)
大阪教育大 教育学部 (1)
和歌山大 経済学部 (3)
和歌山大 教育学部 (3)
和歌山大 観光学部 (2)
和歌山大 システム工学部 (2)
和歌山県立医科大 保健看護学部 (4)
徳島大 工学部 (2)
高知大 人文学部 (1)
長崎県立大 国際情報学部 (1)

私立大学

東京理科大 同志社大 (1)
立命館大 (8)
関西大 (10)
関西学院大 (16)
龍谷大 (7)
京都産業大 (11)
近畿大 (21)
佛教大 (11)
京都女子大 (1)
大阪薬科大 (1)
短期大学
和歌山信愛女子短大 (10)
武庫川女子短大 (1)
龍谷大短大 (1)
関西外国語短大 (2)
他 (1)

専門学校

和歌山赤十字看護 近畿大学附属看護 大阪労災看護 国立大阪南看護 (10)
公務員・就職
和歌山県警察事務 湯浅町役場 湯浅広川組合立消防 郵便局近畿支社 関西電力 東燃ゼネラル石油 西日本旅客鉄道 住友金属工業 三菱電線工業 (1)
他 (1)

同窓会活動報告

2011(H23)年

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 3. 1 卒業式……会長 | 5.19 第5回160周年実行委員会(学校) |
| 2 第4回160周年実行委員会(学校) | 6.15 四役員会(学校) |
| 29 160周年実行委員会 部長会議(学校) | 17 160周年記念事業部会(学校) |
| 4. 7 160周年記念展示部会(学校) | 20 160周年イベント部会(学校) |
| 13 160周年記念事業部会(学校) | 22 会報編集委員会(学校) |
| 20 160周年イベント部会(学校) | 7. 2 県同窓会連絡協議会総会(白浜・川久) |
| 27 四役員会(学校) | …校長・会長・副会長・事務局 |
| | 28 第6回160周年実行委員会(学校) |

情報ボックス

組織強化支援対象記念同窓会
いよいよ来年はあなたの期です！
・高32期 (昭和55年3月卒業)
・高60期 (平成20年3月卒業)

頑張れ母校・負けるな耐久

橋本印刷所
橋本佳己 (高4期)

デジカメよりプリントは
超高画質フジカラー純正で20分仕上げ！

フォトショップ・プリンター

オーケワ湯浅店 TEL(0737)63-2170
オーケワ吉備店 TEL(0737)52-7808

電気工事・浄化槽維持管理
各種水道設備工事

古川総合設備

有田市古江見75-5
TEL(0737)82-4466
FAX(0737)82-2888



株式会社 柏原運送

柏原 政夫美 (高19期)

〒643-0032 有田郡有田川町天満60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

メールアドレス taikyuo-creamynax.ne.jp

俳句王

岡崎多加之氏(高7期)

青き踏み わがゆく方を 疑わず

五月二十三日、NHK教育テレビ番組「俳句王国」の中で秀作として紹介された岡崎多加之氏(本校第七期卒業)の作品である。

氏は「草萌える野道を歩きながら、七十五年間生きてきた人生にささかの悔いはなかったとの信念を持ってこれからも生きていこう」と思い、この句を作りました。」と語っている。

氏は広川町下津木の出身。現在は東村山市に住まわっている。

五年前までは酒店を経営、当時のご用聞き先の家庭の様子、十年余りの民生委員での務めを通じて得た各家庭の生き様をテーマに句作に没頭されたとのこと。

石原八束先生の薫陶を受けること三十年におよび、結社の同人となり数多くの入選作品を創り、同時に田川飛旅子先生の結社にも入会され活躍中である。

因みに二十年前の作品に

薄氷に 映しのせたり 玉椿

実家の一隅に「弘法井戸」と呼ばれる年中枯れることのない浅い



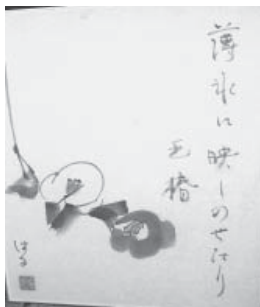
兄弟方が建立した句碑

井戸があり、傍らに椿の木が覆いかぶさるように立っている。この句もふるさとを思い出しての作だとのことである。

尚、実家には兄弟方が建立した句碑が佇んでいる。句碑の書と俳画は三年前に他界された奥様の作とのこと。

出版物 句集「暇」

岡崎 宙夏



白倉 宏之(高7期)

耐久高校は来年(平成24年)創立160周年を迎えます。

*記念式典

平成24年11月3日(土)

午後1時30分から

*アトラクション

合唱「稲むらの火」津波から

村を守った男の話」他

*記念講演

講師 谷口維紹 先生

(東京大学医学部大学院教授)

*記念展示

平成24年11月2日(金)

3日(土)

久し振りに

母校へお越し下さい!

*記念グッズの販売

「ハンドタオル2枚セット」

1000円

(今回は募金活動は行いません)

母校へ記念寄付を考えていますので協力下さい。

なお、各期の同窓会やクラス会が予定されています

事務局(0737-6214148)までご連絡下さい。

*同窓会名簿の発行

名簿発行者(株)サラトよ

り8月中旬にクロネコメール便が届きます。

ご訂正・ご購入等には是非ご協力下さい。

平成23年度

全国大会出場クラブ激励金贈呈

6月28日(火)

昼休み 本校応接

室において下野同

窓会長より、全国

大会に出場する各

クラブの代表者に

激励金と健闘を祈

念する言葉が贈られた。



○バドミントン

・男子団体・シングルス・ダブルス

7名(青森県)

・女子団体・シングルス・ダブルス

7名(青森県)

○マンドリン

・全国フェスティバル出場

34名(大阪府)

○書道

・書道の部 全国高校総合文化祭出場

1名(福島県)

○囲碁将棋

・囲碁の部 全国高校総合文化祭出場

1名(福島県)

○美術

・美術工芸部門 全国高校総合文化祭出場

1名(福島県)

○放送演劇

・朗読部門 全国高校総合文化祭出場

1名(福島県)

・朗読部門 NHK杯全国高校放送コンテスト

1名(東京都)

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

特集

東日本大震災

3月11日に発生した三陸沖を震源とする東日本大震災は東北地方に甚大な被害をもたらしました。被災された多くの方々へのお見舞いと亡くなられた方々のご冥福、一日も早い復興を祈念いたします。

「戦後最大」とも言われる被害状況や被災者の厳しい生活状況が連日のように報道されていますが、今回、実際に被災地に入り、ボランティア、支援活動をされた和泉保廣さん(高校22期)法眼裕子さん(高校47期)のお二人からご寄稿頂きました。

ささやかな達成感を共有したい

常任幹事 和泉 保廣(高22期)

和歌山県と県社会福祉協議会が募集した災害ボランティアバスに参加した。

和歌山市からバスで約18時間、走行距離1250km、3泊4日(うち車中2泊)岩手県大槌町へ。こんな長距離は生まれて初めて、車中ではあまり眠ることができないほうなので、現地での作業に支障をきたさないか不安であった。

参加者は、銀行員、電力会社員、大学教授、農業者、医大生、県職OBなどさまざまな職種を持つ20歳から70歳

すぎの男女20名。

一日目、夕刻「ビッグ・愛」を出発。二日目の午前6時頃、山あいなのどかな遠野市を通過し、釜石市に入った。港湾地域に近づくにつれて車窓から見る様子が一变する。テレビで見た、まさにあの光景が途切れることなくどこまでも続いた。午前9時過ぎ、目的地の桜木地区に到着。ここは大槌町では唯一津波で家の倒壊がまぬがれた地区だったが、ほとんどの家が2層近い浸水被害にあっていた。

ボランティアセンターで引率者が作業の指示を受け、10名ずつの2班に分かれ作業する事になる。私の班は家の



敷地内に入った泥かきだった。訪問すると、大型の物置が庭石に乗り上げ大きく傾いていた。まずはその物置を元の位置に戻す作業から始めた。庭の隅にあったので苦戦したが、何とか午前中に戻せた。午後は終了まで泥かき作業。別の班は浸水した家の家電、家財道具など一階にあったものを全て近くの土手に廃棄する作業にあたった。

二日目の作業が終わりセンターに借りた道具を返しに行くと、大阪から来た天理教の人たちがテントを設営し、ボランティアの人たちに「げんざい」と「焼きそば」をご馳走してくれた。昼食は和歌山から持ってきた2個の「おむすび」だけだったのでとても有難かった。

三日目、私たちの班は同じお宅で泥かき作業。別の班は一人暮らしのおばあちゃん宅へ(おばあちゃんは避難所に)。前に住む地区班長さんの依頼で床下の泥かき、床板の水洗いと雑巾掛け。一軒分の大作業となり、私の班も後で応援に行くことに。近所の人を含め25名の総力戦となったが帰りの時刻までに何とか終了することができた。休憩時、70歳過ぎの班長さんが話しかけてきた。

「あの時、このおばあちゃんを隣の人の助けも借りて、普段は通ることのない裏山の急なケモノ道を必死で引きずり上げて、何とか助けることができました。」

体験した恐怖の時間を誰かに話し、聞いてもらうことで傷心の自分を少し



でも癒やしたかったのだらうと私は思った。三日目の作業を終え、そのまま帰途についた。

今回、私は多くの人から物心ともに心のこもったご支援を頂いた。

現地の作業で無くてはならない「土のう」。たまたま、職場の上司が仕事で広川町長さんにお会いすると聞き、無礼を承知で「土のう」の提供をお願いしたところ、2時間後、さっそく必要な数の「土のう」が届けられた。お礼にすべての「土のう」に町名を書きこませて頂いた。また、被災者が家の後片付けの際、何かと重宝する「タオル」。家の中を探したが数は少なく、迷った末、組織の力をお借りすることにした。有田川町教育委員会で働いている友人に協力をお願いしたところ150本近いタオルを集めてくれた。

4月初め、世の中は自粛・自粛の大合唱。こんな中、有田耐久会の「花見」が予定どおり行われ私も参加した。幹事さんいわく「こんな時に自粛で地方が疲弊していたら被災地を助けられん。」全く同感。最中に県社協から電話が入り「4月22日に出発」との事。皆に話すと、「気を付けて行って来てよ」「ワシも行って何かしてあげたいが体力が持つかどうか……他の人の迷惑になったらいかんので、すまんがワシの分まで頼む」など、わずか2日の活動に暖かい激励の言葉を頂いた。「よし！やるぞ」力が湧いてきた。帰りのバスの中、一人ずつ感想を語った。

「被災者の顔が見える作業に、やり甲斐があった。」「たいしたことは出来なかったが来て良かった。機会があれば又、来たい。」反面「あと一、二時間は作業が出来たのになぜしなかったのか……」引率者への不満も出た。

私は思う。一人ではかどらない作業でも力を合わせれば大きな力となり効率も上がる。それぞれの人柄、職業や経験がどこかで生きる。人を助けたという素朴な善意は、被災者に率直に喜んでもらえるし、こちらの心も豊かになる。ささやかな達成感だが、多くの人に共有してもらいたいと思う。私たちを見送りに来てくれた近くの若者が言ってくれた。

「もし、和歌山に何かあった時は、必ず私は行きますからね！」



被災地での 心理サポート活動について

法眼 裕子（高校47期）

東日本大震災発生後の5月20日～5月28日、6月24日～7月1日の2回にわたり、宮城県の南三陸町で心理サポート活動をしてきました。

南三陸町は津波による被害が甚大で、町の中心部が壊滅状態になっています。自衛隊や民間企業、ボランティアなどが毎日瓦礫の撤去を行っていますが、完全に片付くには長い時間がかかります。

町民の多くは家財を流されてしまい、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされています。

なかまが亡くなっています。その中で、家族や親しい人を亡くした悲しみ孤独感、仕事を失って将来へ不安を抱えている人も少なくありません。

また、仮設住宅は抽選で入居が決まるので、今まで親しかった近所の方々と離れてしまうことになります。そのため、居室に引きこもり話し相手もない中で高齢者が孤独死するという問題が阪神大震災の時も問題になっていました。

そこで、仮設住宅や避難所のそばにお茶飲み広場を作るといふ試みが今回の大震災後から始まっています。のんびりとお茶を飲みながらリラクゼーションしたりおしゃべりに花を咲かす人もいれば、大震災での体験を心理サポートスタッフに語って辛い気持ちを整理する人もいます。



右の写真はお茶飲み広場です。仮設住宅が見渡せる高台にあります。テーブルや椅子を並べると「なんだなんだ」と興味津津で住民が覗きにきてお茶を飲んで行ってくれます。また、老人福祉センターの敷地内にあるのでお昼どきになると、センターの職員が一服しに来て賑やかになります。

また地域の保健師さんやボランティアさん達も立ち寄ってくれて情報交換をすることもあります。

お茶飲み広場の活動を通じて、地域住民が交流を深めて元気な力を取り戻してもらえるよう支援を続けていきたいと思っています。

（病院勤務 茨城県在住）

有田耐久会

有田耐久会、花見を行う

春の行事として計画していました「お花見」を4月5日に桜の名所、有田川町愛宕山で開催しました。

3月に突然襲った東北地方太平洋沖地震のイベントの自粛ムードが漂う中、このお花見も中止にしてはという声もありました。そういう声も受け、役員で開催するか否かを検討した結果、「関西から元気を発しよう、自粛は控えるべき」という知事発言もあったことにも後押しされ、沈みがちな雰囲気打破し、元気を付けようとのこと、そして飲食物も東北の物産を買うことで少しでも協力しようと考え、開催の運びとなった次第です。

お花見当日はまだ自粛ムードが残っているせいか、広い愛宕山には我々だけしか花見客がおらず、少し寂しい感じはしましたが、参集した耐久会の会員は満開の桜に感動も新たに、お互いの交流を深め、元気を付ける絶好の機会となりました。

本部耐久会の会長、役員の皆様も駆けつけていただき花を添えていただきました。ご参加ありがとうございました。

今回の呼びかけにお集まりいただいた様々な年代の同窓生の方々の自己紹介から始まり、美しい夜桜の下、話は尽きることなく楽しい時間はあっという間に流れていきました。それぞれお集まりいた



だいた方々の時代は違えども、同じ学舎で過ごしたという共通点は実に大きなもので、「耐久」という名の下、それぞれの想いは重なり、一体感が生まれていることは「同窓会」の最も大きな存在意義ではないかとさえ思います。

耐久で学び、耐久で青春時代を過ごしたあの日、あの時が蘇ってくるのも同窓会の醍醐味でもあります。美しい夜桜と耐久で過ごした青春のひとつときの美しい思い出が重なり合い、花見の席は参加者を高校時代へと引き戻してくれました。

有田耐久会では、今後も同窓の皆さまと共に集い、語り、そして耐久高等学校の発展と同窓の方々との親交を深めていく機会を作っていきたいと考えております。今後ともそういう機会に是非ともご参加いただければ幸いです

三角 治(高25期)

第5回有田耐久会

ゴルフコンペ開催

平成23年3月23日(水)、有田東急ゴルフクラブに於いて、10組40名と多数の参加をいただき恒例のゴルフコンペを開催いたしました。早春の好天に恵まれ、参加者全員、日頃の練習の成果を十分に発揮して一日楽しくプレーしました。今回もまた初参加の三枝芳博さん(43年卒)がグロス93で優勝されました。ちなみにベストグロスは、岩倉恒行さん(38年卒)の82でした。

次回は、9月28日(水)に有田東急ゴルフクラブでの開催を予定しています。初参加の方にも声をかけていただき、皆さん誘い合わせの上、ふるって御参加下さいますようお願いいたします。

柏原政夫美(高19期)



同窓会本部及び
有田耐久会総会のご案内

とき 平成23年10月2日(日)
ところ 湯浅町地域福祉センター
湯浅町道町北
受付 12:30

◆第一部 13:00～

①講演 垣内 貞 先生(旧中39期)
母校創立者
「濱口梧陵翁」より学ぶ

②耐久4代記念

(耐久卒業又は在学中が4代にわたる直系家族)

※耐久4代記念に該当するご家族は、自薦他薦を問わず事務局までお知らせ下さい。

◆第二部 14:00～

総会(議題の審議・160周年記念事業について 他)

懇親会 15:00～17:00
会費 2,000円

ビジネスインテグレート(株)

萩 平 勲
(高10期)

大阪市中央区谷町 1-3-17-301 号
TEL(06)6941-8282 FAX(06)6941-8248
メール haghira@businessintegrate.co.jp

塗装のことなら

中内 塗装
中内 祐也
(高45期)

湯浅町山田10-13 TEL 63-3769

ニット工房 KT

Original Fashion Ladies Knit 企画・製作
北浦萬里子(高7期)

〒534-0012
大阪市都島区御幸町1丁目5-13 北浦ビルF
TEL 06-6921-0680 FAX 06-6924-3451
e-mail: waterhall@green.ocn.ne.jp
e-mail: kitaura@minos.ocn.ne.jp

ファッションアパレル
クルーズカンパニー
株式会社

取締役会長 土岐康二(高7期)
大阪市中央区北久宝寺町
TEL(06)4705-3377



大橋歯科・矯正歯科

大橋 寛治(高14期)
大橋 一範(高46期)

予約制 TEL (0737) 63-6480
ムシバゼロ
有田郡湯浅町島ノ内 1267

関西耐久会

蛭を訪ねて恐竜に出会う！

「初めて関西耐久会の催し物に参加したが、思っていた以上に楽しかった！」「知り合いの方に誘われて来ましたが、耐久高校の同窓会って温かいですね。心が癒されました。」などの感想をいただき、6月7日「関西耐久会蛭の乱舞を見に出掛けようⅡ」を終えることができました。

当日、天気予報は雨。「雨のドライブも乙なもの、雨を楽しもう！」という気持ちで迎えた朝、全員雨傘持参、レインコートもバッチリという出立ちで集合しました。まずは、ロマン城下町丹波市柏原（カイバラ）めざして観光バスで出発。行けば行

くほど青空が広がり、柏原に到着したときは雨の心配ゼロ。そこで一句。

天気予報はずれ雨傘パラソルに

柏原を知り尽くした前川さん（7期北浦さんの友達）が、町を案内してくれました。歌あり踊りありの名ガイド、お洒落で美味しい「無鹿（ムジカ）」という築百年の町家を生かしたレストランで、鹿料理をいただきました。織田信休が造営し、その後再建されたという陣屋跡や田ステ女記念館を見学しました。大ケヤキの木の根橋があったり、大正ロマンの建物が今も使われていたり、人々が自分の町を大切にし、愛していることが伝わってきました。ちなみに、田ステ女は、

雪の朝ニの字ニの字の下駄のあとという句を6歳の時作ったといわれています。

丹波の森公苑を経て、丹波竜化石発掘場所を見学しました。前川さんのお骨折りで、第一発見者の村上茂さんから感動の発見話を聞くことができました。白垂紀前期の泥岩層は日本国内には、このあたりにしかないそうです。平成18年8月7日の興奮が、聞いている私たちにも伝わってきました。きれいな溪谷を見ながら、それぞれ色々な恐竜をイメージし、一億数千万年前にタイムスリッ

プしました。そこでまたまた一句、恐竜の里賑わすや青蛙

いつもお世話になる牟三荘（イン

ターネット）で検索してみてください。（田舎の実家に戻ったような気分です。リラックスさせていただきました。今年は女性落語家さんが「ちりとてちん」を演じてくれました。62歳から落語を始めたというのに、

ほんとうに面白かった！さすが、芸術村です。いつもの蛇味線で盛り上がり、美味しい弁当をいただき、さあ、蛭！結果は、

目を凝らし

藪を覗みて蛭狩

どうやら、今年は早すぎたようです。おとしのあの乱舞が忘れられませんか。来年こそは！

関西耐久会幹事長

地引 民子（高17期）



第10回 関西耐久会

ゴルフコンペを開催

平成23年5月13日（金）泉南カントリークラブでの3回目、第10回のゴルフコンペを萩平関西耐久会会長をはじめ25名の参加で開催し、楽しく交流を深めました。

地元有田からも下野会長をはじめ多くの同窓生の皆様にご参加いただきました。

優勝は第16期の堀端孝治さん（泉南カントリーのメンバー）でネット71.4でした。

参加賞はいつもの湯浅産の干物で大好評でした。

次回は10月7日（金）に第11回のコンペを同じく泉南カントリークラブで開催予定です。同窓会員、関係者の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

関西耐久会ゴルフ幹事

岡 伸彦（高14期）

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。



竹中カズ代先生を偲ぶ



が突然入りました。お元気でいらっしやるものと信じていただけに驚きと戸惑いで一ぱいでした。

先生は戦時色いよいよ濃くなってきた昭和十五年四月田辺高等家政女学校より母校へご転勤、当時は田高女には厳格でちょっとこわい竹中信頼先生が居られ、まだ四十才そここの先生を生徒間では「おじやん」なんて失礼ながら呼んでおりました。学校側も二人の竹中先生ではややこしくうと信頼先生は「大先生」カズ代先生を「若先生」とお呼びする様お達しがあり、以来若先生で通用していました。

たまたま朝ドラで、「おひさま」が放映されていますが先生は陽子先生そのものでしたね。特に昭和十六年十二月第二次世界大戦が始まり学校では体育の時間は軍事教練と化し、あらゆる訓練を校内外で受けました。昭和十八年十二月私達専攻科生は繰上げ卒業「海ゆかば」の歌で勇ましく送り出されたものの、挺身隊か教員養成所の二者択一。それがだんだんエスカレートして後輩達は学業を放棄、学徒動員として

去る六月十一日

早朝、有田高女同窓会前会

長、竹中カズ代先生の訃報

明石川崎航空機会社に出動。そしてあの恐怖の空襲に遭遇。幸い我が母校は九死に一生を得ましたが、前出の田辺家政の学徒十数名が爆撃の犠牲となつたのです。たまたま竹中先生は教師一年目の教え子達であつたとか、お年をとつてからも毎年その慰霊祭に参列なさつてました。

田辺からお帰りになった先生を時々お慰めに伺つたのですが私の生涯で一番忘れられない日とおっしゃって目に一ぱい涙をためて話されておりました。当時の生徒から「担任はして頂けなかったけど動員では随分お世話になった」と異口同音感謝されていました。親元を離れ不安な中で生徒達はきつときつと頼りにしていたのだと思います。

特にあの頃の先生は東奔西走、年老いた父上を一人残し身軽に飛び廻つていたのを思い出します。何事にも精一ぱい尽くされた先生。今はどうぞゆっくりおやすみ下さい。

さて私達同窓会も最初からわかつていた事ですが引き算ばかりの会故、周囲がだんだん寂しくなつて時には不安にもなります。でも松本先生、竹中先生、そして大勢の先輩達が戦後苦勞して立ち上げ育てて下さつた同窓会です。みんなでしっかりとその火を消さない様頑張りますので、どうぞ見守って下さい。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌

伏木 富紀子(高女22期)



高女27期

傘寿で最後の同窓会

♪有田の川辺は橘かおり 湯浅の磯辺は〜♪

なつかしい校歌が流れる中、平成23年5月18日、和歌山市アバローム紀の国で27期生の同窓会が開かれました。

80才を機として最後の同窓会が開かれました。45名の元気な同窓会の方々が一堂に会しました。和歌山市の役員様をはじめとして各地区の役員様方の至れり尽くせりの準備段

どりで、それはそれは楽しく会は大いに盛り上がりしました。同窓会創立期から今に至るまでのスライド写真(ずい

分皆さんの若い)から、歌、舞踊、手品等々皆さんの多芸さを羨しく自分の無芸さをな

さげなく思いました。又恩師飯田先生からの心のこもつた

お便りを頂き先生は九十余才との事とてもそのお年に思えぬ文面筆跡に感激致しまし

た。「他人に依存しないで自分の才覚で老後の生活を元気に強く過して下さい」とのお

言葉を頂き胸に深く刻んでおこうと思います。

一方竹中若先生の訃報に接

し若くお元気で教壇に立たれていてるお姿を思い出し大変寂しく存じます。御冥福をお祈り申し上げます。

日本は世界に冠たる長寿国ですが、同窓会の皆様の方、いや体力気力でもっと平均寿命をおし上げられる様お互い身体に気をつけて頑張りた

いものです。皆々さまのますますの御多幸と御健康を祈念しつつ攔筆致します。

中島 忠子(高女27期)



損害保険・生命保険・ファイナンシャルプランナー事務所
和歌山FP総研
代表 川島忠弘
(高37期・S60年卒)
wfp-soken@ares.eonet.ne.jp
http://wakayama-fp.com

小畑産業株式会社
代表取締役 小畑英三
(高18期)
〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbt.jp

株式会社 和通
代表取締役 中田 實宏
(高17期)
〒640-8341 和歌山市黒田279-4
TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320

田辺法律事務所
弁護士 田辺 善彦
(高14期)
〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299

DUNLOP
は ダンロップタイヤ近畿株式会社 有田営業所
643-0005 有田郡湯浅町大字栖原字横田82
TEL (0737) 63-4001 FAX (0737) 63-2993
E-mail: 62062631@knk.dunlop-falken.co.jp
応援しています
下野 憲英 (高13期)

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！



高6期

高6期耐久関東同期会の開催

快晴に恵まれた5月8日、恒例の高6期耐久関東同期会が横浜みなとみらい21にある「ナビオス横浜」で開催されました。

今年は例年より少し少ない14名の出席でしたが、窓外に横浜港を眺める落着いたテーブルを囲み、先ずはお互いの元氣な姿を喜び合いました。唯一つ、大変悲しいことは、度々大阪から来て下さっていた荒木彰一君がこの3月に急逝され、そのお姿をみることも出来ないことでした。開会に先立ち全員一同心よりご冥福をお祈りし黙祷を捧げた次第です。

次いで、毎年湯浅から参加して下さる川口清君の発声で、荒木君への献杯と、皆な健康を祈念して乾杯を行いました。

私達ももう75才あるいは76才となりますが、久しぶりの出会いに心がはずみ、話に華が咲きました。ある方は、体重管理のポリシーを力説され、又ある方は、週2回も舞台でバレエに精を出しておられるとか、数年前に患った大病を完全に克服された方のお話、又趣味や家族の介護のお話、そして懐かしい耐久時代の思い出、更に朗々たる詩吟を披露して下さいの方々と、本当に楽しい時間があったと言う間に過ぎてしまいました。

最後に耐久高校校歌を斉唱、小宅貞

夫君の音頭で一本締め、そして毎回お世話になる北村治君のきもいりで全員記念写真に納まりました。

この後、山下公園まで散策、更にシーバスに乗船、横浜港をクルージングして、横浜駅近くに上陸、あとは家路を急ぐ方と、更に二次会に赴く方に別れ、次回の再会を約して散会となりました。

耐久高校を巣立って57年という長い年月が過ぎた異郷の地での同期会、今後益々お互いの絆を大切にしてくださいという共通の想いを改めて感じるとても良い集いであつたと思います。

(戸田 有亮)



高7期

第七期(昭和三十年卒業)同窓会

時 平成二十三年四月六日
所 和歌山市 ダイワロイ
ネットホテル

会場は豪華ホテルの六階大ホール。ガラス窓より名城和歌山城天守閣を展望。見下ろせば桜花爛漫の和歌山城公園という、素晴らしい会場に同窓生五十八名(男性二十八名、女性三十名)が参集、盛大に同窓会を開いた。

来年に開催される高校創立百六十周年への拠金として、一セット千円の記念タオルを全員が購入、成功をめざして協力することを決め閉会。その後城内公園の花見を楽しんだ。

(戒 和男)

会の司会は白倉

宏之氏で、世話役代表の五百崎耕一氏の挨拶から始まり、同窓会、東北大震災の物故者に対する黙祷、本部からの祝辞を受けた後、懇親会に入り、各々グループごとに賑やかに歓談、旧交をあたため合った。

最後に、本部役員宮井慶三氏からの提案により、



歴史と文化と味のまち

湯浅ボランティアガイド協会

ゆあさの歴史勉強、町案内

世話人代表 半辺 宗五 榎野 裕明(高18期)
090-7877-4749 半辺みづ子(高18期)
法眼 貞子(高19期)

阪和工業株式会社

社長 西本 英幸

有田郡湯浅町吉川 195-7
TEL (0737) 63-6251

Total Printing System
ICHUJO
株式会社 一久

和歌山市湊紺屋町2丁目30番地
(市民会館前)
Tel. 073-423-6950
Fax. 073-423-6955

関連事業

クレイジ〜ミルク

ご出産やお誕生日の
お祝いに最適のオムツケーキ

<http://crazy-milk.com/>

郵便振替口座の開設について(口座番号) 00900-5-298293 (口座名称) 和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局) 湯浅郵便局



文芸部の巻

部活OB・OGたちの

今年度より、図書部と文芸部が一つになり、新しく「文芸部」として、活動をはじめました。現在、部員は、三年生が二名、二年生が一名、一年生が五名、計八名で活動しています。一年生が五名も入部してくれたのでたいへん喜んでいきます。

主な活動として、毎週木曜日の放課後、生徒会室横の部室で部会を開いています。それぞれの作品は、自宅で作ることがほとんどなので、部会では楽しくおしゃべりをしたり、読書したりします。また、年一回、文芸

部誌『花鳥風月』を発行しています。部員一人一人が詩やエッセイ、小説、イラスト等を発表しています。まだまだ力不足ですが、楽しく創作し、これからも途絶えることなく『花鳥風月』を発行していきたいと思っています。

毎年夏休みには研修旅行として、京都・神戸方面にいきます。谷崎潤一郎記念館を訪ねたり、三島由紀夫の『金閣寺』にちなんで、京都の金閣寺を訪れたりしました。昨年は歴女部員の希望で、彦根を訪れ、彦根城や資料館を見学しました。JRの事故で電車が遅延したために、見学の時間が少なくなってしまうのですが、有意義な研修となりました。今年も京都方面へ行く予定で、生徒達は楽しみにしています。

今年はいろいろな文芸賞の作品募集にも応募して、力を試したいと思っています。

顧問 西川 充
大藤 佐和

Echo!

も受賞という快挙を成し遂げました。

◎今年も母校のマンドリン部が吹田市で開催された全国高校ギターマンドリンフェスティバルに出場しました。今回で、二十七年連続優秀賞受賞。さらに大阪市長賞も受賞という快挙を成し遂げました。

◎七月、サッカーの女子ワールドカップドイツ大会で日本が初優勝をしました。最後まであきらめなかった「なでしこジャパン」の快挙は、私達に感動と勇気を与えてくれました。



同窓俳壇・歌壇

濃中 かよ子 (高女27期)
・潮騒と昼の虫鳴く船だまり
・一揺れの雫こぼしぬ合歡の花

岩 寄 弥 生 (高4期)
・行灯の淡き光に誘われて
・遠き誓の街に紛れつ

井 原 禮 子 (高11期)
・奥入瀬の清き流れの七変化
・水のささやきに心癒さる

中 内 京 子 (高15期)
・梨桜・袈裟ははじける孫の笑ひ声
・さくら花びら空に舞ひ舞ふ

◆ご献金に感謝

・有田高等女学校同窓会様

計報

有田高女旧職員、斎藤キイ先生が去る七月二十六日未明、黄泉の人となりました。(享年一〇五才) 九十代半ば迄子供達に書の指導をなされ、素晴らしい短歌や書をたくさん残していらつしやいます。謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。(伏木)

『編集後記』

若人の熱い夏が幕を閉じました。県、近畿、全国大会で、体育・文化面のそれぞれの競技で活躍された母校の選手諸君の敢闘を称えます。

本年度から河本好史教頭先生(全日制)、笠松勝美教頭先生(定時制)、前田英之事務長先生をお迎えし、ご挨拶を寄稿していただきます。

三月十一日、未曾有の東日本大震災が発生し、一瞬にして多くの尊い人命やあらゆる生活基盤を奪い去りました。

しかし震災直後、被災地で行方不明者の捜索にあたった米國チームの指揮官は、「被災者同士が助け合う姿に士気が高まった。感銘した。」と語っています。どんな厳しい苦境の中でも「思いやりと感謝の心」を失わない被災者の姿に胸を打たれ、国際的に支援の輪が広がっています。

今回の特集は、東日本大震災後、現地でボランティア活動をされた和泉和廣氏と法眼裕子氏に体験談を執筆していただきました。関西耐久会をはじめ各期同窓会開催の記事や短歌を投稿されました皆様方、有難うございました。これからもたくさんの方の寄稿をお待ちしています。

来年度開催される創立一六〇周年記念事業に向けて、その準備が着々と進んでいます。

今年度は二年に一度の総会の年にあたります。今回は、母校の創立者であり、「稲むらの火」でも知られています『濱口梧陵翁』の講演会を予定しています。皆様お誘い合せの上是非ご参集ください。

今後とも皆様方のご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。